

令和5年度福岡ブロック社会教育委員研修会における

パネルディスカッション流れ（案）

- テーマ
「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的な推進」
～社会教育に携わる人たちの組織的な繋がりについて～
- 登壇地区
糟屋地区（宇美町）、筑紫地区（太宰府市）、宗像地区（宗像市）
- ファシリテーター
福岡教育大学 教授 伊藤 克治 氏
- パネルの流れ（14:30～15:50 80分）
 - 1 議論（14:30～15:35 65分）
各自治体の、社会教育に携わる行政職員の所属部署や仕事、社会教育委員や社会教育団体、地域学校協働協働推進員の活動などについて、ファシリテーターを中心に自由に語り合う。
 - 2 会場との質疑応答（15:35～15:40 5分）
 - 3 まとめ（15:40～15:48 8分）
福岡教育大学 教授 伊藤 克治 氏
 - 4 謝辞（15:48～15:50 2分）
福岡県教育庁教育事務所 社会教育室 社会教育主事補 矢野 貴士 氏

【パネルディスカッションの進行について】

ファシリテーターから話を振られた地区が、自己の自治体の現状を簡単に説明。説明には、パワーポイントを使用してもよい。

<説明する項目例>

- ・社会教育の主管課
- ・社会教育の主管課の主な業務
- ・連携している主な社会教育団体
- ・社会教育の主管課の持つ長所
- ・学校との連携において社会教育の主管課の抱える課題
- ・コミュニティ・スクールや地域学校協働活動の実施状況

話題に挙げた案件から、ファシリテーターが話を広げていく。各地区はファシリテーターからの話に答えられる範囲で現状説明や所感を述べていく。

<検討事項>

冒頭に、各自治体の現状の発表をおこなうか、冒頭からファシリテーターに進行を委ねるか。